安全データシート(SDS)

1．製品および会社情報

会 社 名	：	昭石化工株式会社
住　　所	：	東京都港区台場 2−3−2（担当部門：営業部）
電話番号	：	03−5531−7063（Fax03−5531−6811）

製品名　　フジトップカラーＵ　（グレー）

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

急性毒性	経口	：	区分外
	経皮	：	区分外
	吸入（蒸気）	：	分類できない
皮膚刺激・腐食性		：	区分外
眼損傷性・眼刺激性		：	区分外
感作性	呼吸器	：	区分１
	皮膚	：	区分１
生殖細胞変異原性		：	区分外
発がん性		：	区分１A
生殖毒性		：	区分１Ｂ
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)		：	区分１(中枢神経系, 呼吸器系, 腎臓, 心臓)，３(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)		：	区分１(中枢神経系, 呼吸器系, 腎臓, 心臓)
吸引性呼吸器有害性		：	区分外
水生環境有害性（急性）		：	区分３
水生環境有害性（慢性）		：	区分外

＊記載がないものは分類対象外または分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵文字またはシンボル　：

注意喚起語　：　危険

危険有害性情報

有害性　：　吸入するとｱﾚﾙｷﾞｰ・喘息又は呼吸困難を起こすおそれ, ｱﾚﾙｷﾞｰ性皮膚反応を起こすおそれ，発がんのおそれ。
臓器(中枢神経系, 呼吸器, 腎臓, 心臓)の障害。呼吸器への刺激のおそれ。
長期にわたる、または反復暴露により臓器(中枢神経系, 呼吸器, 腎臓, 心臓)の障害。

環境影響　：　水生生物に有害。

化学物質等の分類（日本方式）　：　該当しない。

危険性(物理的・化学的)　：　情報なし。
可燃性なし。

特定の危険有害性　：　情報なし。

注意書き

安全対策 ： 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸引しないこと。
環境への放出を避けること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

救急処置 ： 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
吸入し呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管 ： 涼しい換気の良い場所に施錠して保管すること。

廃棄 ： 内容物や容器は、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

３．組成，成分情報

単一製品・混合物の区分 ：混合物

化学名（一般名／別名） ：EVA 樹脂系エマルション（EVA 樹脂系合成樹脂エマルションペイント）

成分及び含有量 ：ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ, ｱﾝﾓﾆｱ水, 結晶質-石英, 二酸化ﾁﾀﾝ, 三酸化ｸﾛﾑ, 黄色酸化鉄, ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ, ﾌﾀﾛｼｱﾆﾝｸﾞﾘｰﾝ

成分名	含有量（%）	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR 法
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ	1.0 未満	$HOCH_2CH_2OH$	107-21-1	化審法 2-230/安衛法 9-75	該当せず
ｱﾝﾓﾆｱ水	0.2 未満	NH_3	7664-41-7	化審法 1-391/安衛法 9-39	該当せず
結晶質-石英	40～50	SiO_2	14808-60-7	化審法 1-548/安衛法 9-312	該当せず
二酸化ﾁﾀﾝ	15～20	TiO_2	13463-67-7	化審法 1-558/安衛法 9-191	該当せず
三酸化ｸﾛﾑ	1.0 未満	Cr_2O_3	1308-38-9	化審法 1-289/安衛法 9-142	1-87
黄色酸化鉄	1.0 未満	Fe(OH)O	20344-49-4	化審法 1-1073/安衛法 非該当	該当せず
酸化鉄	1.0 未満	Fe_3O_4	1317-61-9	化審法 1-357/安衛法 非該当	該当せず

４．応急処置

目に入った場合 ： 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。洗眼の際、まぶたの裏や眼球の隅々まで完全に洗うこと。医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 ： 付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石けん又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

吸入した場合 ： 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 ： 安静にして医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないこと。

５．火災時の措置

消火剤	：	水、粉末・二酸化炭素・泡消火器、乾燥砂が有効である。
特定の消火方法	：	可燃性の物を速やかに周囲から取り除き、保護具を着用して消火する。
消火を行う者の保護	：	燃焼した場合、消火作業には呼吸器用保護具を着用する。
火災周辺の措置	：	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項	：	作業の際には適切な保護具（ｺﾞﾑ又はﾌﾟﾗｽﾁｯｸ手袋、呼吸器用保護具、ｴﾌﾟﾛﾝ、ｺﾞｰｸﾞﾙ等）を着用する。
環境に対する注意事項	：	河川等へ排出され、環境へ影響を起こすことがないように注意する。
除去方法	：	乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。大量の流出の際には、盛り土などで囲って流出を防止する。流出物はｽｺｯﾌﾟなどで密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。
二次災害の防止	：	付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を準備する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	換気の良い場所で取扱う。容器はその都度密栓する。
取扱者の暴露防止	：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等の保護具を着用する。取扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを十分に行う。
安全取扱注意事項	：	皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

保管

技術的対策（保管条件）	：	直射日光や雨水を避け、換気の良い場所で取扱う。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策	：	屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、又は局所排気装置の設置を行う。取扱い場所の近くに手洗い・洗眼の設備を設け、その位置を表示する。装置は耐腐食性のある材料を用いて作ること。腐食性物質に作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をすること。
管理濃度	：	設定されていない。
許容濃度	：	

		日本産業衛生学会勧告(2007年版)	ACGIH(2007年版)
二酸化ﾁﾀﾝ	；	1mg/m^3(吸入性粉塵として) 4mg/m^3(総粉塵として)	TLV-TWA 10mg/m^3
結晶質一石英	；	0.03mg/m^3(吸入性結晶質ｼﾘｶ)	TWA 0.025mg/m^3(結晶質ｼﾘｶ)

適切な保護具

呼吸器系の保護	：	ミストなどの吸入を妨げるマスクを着用する。
手の保護具	：	不浸透性ゴム製の手袋を着用する。
目の保護	：	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	：	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
適切な衛生対策	：	作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態　形状	：	液体
色	：	グレー
臭気	：	僅かEVA臭。
ＰＨ	：	8～9
融点／凝固点	：	データなし
沸点	：	データなし(製品)
引火点	：	データなし(製品)
発火点	：	データなし。
爆発特性	：	データなし。
蒸気圧	：	データなし
密度	：	1.50～1.65(g/cm^3)
溶媒に対する溶解性	：	データなし。

１０．安定性及び反応性

安定性	：	情報なし。
反応性	：	普通の条件での反応性はない。他、情報なし。
避けるべき条件	：	直射日光や雨水を避ける。
混触危険物質	：	情報なし。
危険有害な分解生成物	：	このものは燃えないが塗膜等が燃えた場合、一酸化炭素などの有害ガスを発生する。

１１．有害性情報

引火性液体	：	区分外　(引火点；データなし)
急性毒性	：	(経口) ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ;LD50 4000mg/kg, 二酸化ﾁﾀﾝ;LD50 ＞10000mg/kg、 混合物として【区分外】に分類 (経皮) ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ;LD50 10600mg/kg, 二酸化ﾁﾀﾝ;LD50 ＞10000mg/kg、 混合物として【区分外】に分類。 (吸入) データ不足のため分類できない、混合物として【分類できない】
皮膚腐食性/刺激性	：	ｱﾝﾓﾆｱ水;区分1A～1C 、混合物として【区分外】に分類
眼損傷/眼刺激性	：	ｱﾝﾓﾆｱ水;区分1, ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ・二酸化ﾁﾀﾝ;区分2B、混合物として【区分外】に分類
感作性	：	(皮膚)　三酸化ｸﾛﾑ；区分1、混合物として【区分１】に分類 (呼吸器) ｱﾝﾓﾆｱ水・三酸化ｸﾛﾑ；区分1、混合物として【区分１】に分類
発がん性	：	結晶質-石英；区分1A、混合物として【区分１A】に分類
生殖細胞変異原性	：	ｱﾝﾓﾆｱ水；区分2、混合物として【区分外】に分類。
生殖毒性	：	ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ；区分1B、混合物として【区分１B】に分類
特定標的臓器・全身毒性	：	ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ ； 区分1(呼吸器,中枢神経系,腎臓,心臓)
(単回暴露)	：	ｱﾝﾓﾆｱ水；区分1(呼吸器系)
	：	結晶質-石英；区分1(呼吸器系)
	：	二酸化ﾁﾀﾝ；区分3(気道刺激性) 混合物として【区分１、区分３】に分類
特定標的臓器・全身毒性	：	ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ ； 区分1(中枢神経系,呼吸器系,心臓)
(反復暴露)	：	ｱﾝﾓﾆｱ水；区分2(肺)
	：	結晶質-石英；区分1(呼吸器系,腎臓)
	：	二酸化ﾁﾀﾝ；区分1(肺 - 吸入)
	：	ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ；区分1(肺) 混合物として【区分１】に分類
吸引性呼吸器有害性	：	混合物として【区分外】に分類

１２．環境影響情報

生体毒性 ： 水性環境有害性；

ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙLC50(96hrs) 魚類(ﾋﾒﾀﾞｶ) ＞100mg/L(環境省生態影響試験, 2001)

二酸化ﾁﾀﾝEC50(48hrs) 甲殻類(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ) ＞1000000μg/L(AQUIRE, 2003)

・水性環境急性有害性；混合物として【区分３】に分類、

・水性環境慢性有害性；生分解性、蓄積性のデータより、【区分外】に分類

残留性、分解性 ： ｱﾝﾓﾆｱ, 三酸化ｸﾛﾑ 急性毒性 区分１

生体蓄積性 ： ｱﾝﾓﾆｱ, 三酸化ｸﾛﾑ 生体蓄積性不明

土壌中の移動性 ： データなし。

他の有害影響 ： 漏洩、廃棄の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れないように対処すること。

１３．廃棄上の注意

以下の情報を参考に分類の上、許可を受けた専門業者に処理を委託する。詳細は法律（廃掃法及び容器包装リサイクル法）に従う。

容器・包装の廃棄 ： 空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収する。

（ ）に管理型・安定型の区分を示す。

外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理。(単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物)

金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理。(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。)

プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチックとして処理（単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。)

１４．輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件 ： 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。

容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

陸上 ： 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上 ： 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空 ： 航空法に定めるところに従うこと。

国連番号・分類 ： 該当しない。

１５．適用法令

法規制 ： 化審法、安衛法、化学物質管理促進法（PRTR 法）の該否については 3. 組成、成分情報内に示す。

労働安全衛生法・特化則；該当しない

労働安全衛生法・有機則；該当しない

消防法；該当しない

危険物船舶運送及び貯蔵規則；該当しない

毒物及び劇物取締法；該当しない

悪臭防止法；該当しない

大気汚染防止法・有害大気汚染物質；三酸化ｸﾛﾑ

１６．その他の情報

引用、参考文献 ： 日本工業規格 JIS Z 7252(2014)　GHS に基づく化学物質等の分類方法
国連 GHS 文書　改訂 5 版　(2013)
独立行政法人　製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ　GHS 分類結果データベース
原料メーカーの MSDS
ウレタン原料工業会「TDI(ﾄﾘﾚﾝｼﾞｲｿｼｱﾈｰﾄ)輸送管理指針」(1989)
日本塗料工業会編集　「GHS 対応 MSDS・ラベル作性ガイドブック」
日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
国際化学物質安全カード(ICSC)
製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会(平成 13 年 10 月)
危険物船舶運送及び貯蔵規則　14 訂版　海文堂

含有量表示基準 ： PRTR 指定物質及び劇毒物は有効数字 2 桁。労安通知物質その他は 5%刻みの未満表示（10%未満の場合は 1%刻み）で表す。

・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。なお、新しい知見により改訂されることがあります。
・危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないでください。